

2016年10月24日

各教区の司教様、修道者、信徒の皆様へ

カトリック広島教区 白浜 満 司教
災害サポートセンター担当 原田 豊己 神父

鳥取中部地震による教会関連の被害状況の報告

+主の平和

10月21日(金)に起きた鳥取中部地震のため、各方面の皆様方からお見舞いの言葉や、お問い合わせなど、お気遣いを賜っております。本当に、どうもありがとうございます。

10月23日「日本海新聞」の朝刊によりますと、死者はなく、人的被害16名(重傷2名、軽傷14名)、住宅被害234棟(全壊3、半壊2、一部破損229)、公共土木施設被害42カ所、住民避難1324人という報告がありました。

10月22日と23日には、今回の震源地に最も近い、カトリック倉吉教会の公式訪問と堅信式ミサが前もって予定されていたため、わたしたちも、いち早く現地を視察することができました。

カトリック倉吉教会の建物には、小さなひび割れがあったり、信者の方々の自宅の屋根瓦が一部落ちたりした被害はあったようですが、無事に10月22日と23日の公式訪問と堅信式ミサを終えることができました。また、今回の地震で、その他の地域の教会関連の人的・物的の被害は、ほとんどなかったようです。

皆様にご安心していただくため、簡単ではありますが、広島教区内教会関連の被害状況の報告に代えさせていただきます。なお、余震が続いておりますので、引き続き、お祈りをお願い致します。

以上